

日本陸上競技連盟
インテグリティ行動指針
ーより良い陸上界のためにー

「陸上競技」をより多くの人々や社会とともに歩む「陸上」へ。

この行動指針は、日本陸上競技連盟が大切にしている価値観と、陸上に関わるすべての人々（競技者、指導者、役員、ボランティア、保護者など）に期待される行動基準を明確にするものです。私たちは、すべての関係者が誠実さ（インテグリティ）を持って活動することを心から願っています。

陸上に関わるすべての皆さんへ

私たち一人ひとりの行動によって、陸上がより輝かしいものになります。以下の原則を心に留め、実践していきましょう。

- ・ 尊重と包容の精神を大切にしましょう。
 - 年齢、性別、性自認、性的指向、人種、障がいの有無など、どんな違いも個性として認め、すべての人に敬意と尊厳を持って接しましょう。
 - 誰もが陸上に参加できる、温かく開かれた環境を作りましょう。
 - 特定の人を「ひいき」したり「無視」したりすることなく、すべての人に平等に接することを心がけましょう。
- ・ ハラスメントや差別のない環境を築きましょう。
 - 人種、肌の色、性別、性自認、性的指向、年齢、障がい、宗教、民族、婚姻状況、信条、社会経済的地位に基づく差別が決して許されないことを認識し、差別のない環境を推進しましょう。
 - ハラスメント、虐待、搾取のない、安全で協力的な環境を皆で推進しましょう。
- ・ クリーンな競技を追求しましょう。
 - パフォーマンス向上のための禁止物質の使用は、絶対にやめましょう。
 - 禁止薬物の使用が疑われる場合は、独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）ドーピング通報窓口などの適切な当局に速やかに報告しましょう。
- ・ 問題に気づいたら、声を上げ、行動しましょう。
 - 心配事、不正行為、怪我など、問題の兆候に気づいたら、耳を傾け、指導者、保護者、チームやクラブ、陸上に関わる団体など適切な相手に迅速に報告しましょう。
 - 競技者を対象とした迷惑撮影行為、写真・動画を性的目的でSNS に投稿、WEBサイトに掲載することは、絶対にやめましょう。
 - SNSでの心無い誹謗中傷は、心を深く傷つけ、不安に陥れる原因となります。どんな理由があろうと許されるものではなく、絶対にやめましょう。
- ・ 模範となる行動を心がけましょう。
 - 特に未成年を預かる立場にある場合は、適切な行動をとり、良いロールモデルとなりましょう。
 - 特に未成年競技者を預かる立場や未成年競技者を専門的に支援する場面では、喫煙や飲酒は避けるなど、常に責任ある態度で臨みましょう。
 - 自分自身の行動、言動に責任を持ち、時間を守り、準備を怠らず、服装や用具を整えましょう。
 - 指導者や役員、ボランティアの指示に従い、彼らの時間、努力、専門性に敬意を払いましょう。

指導者・役員・マネージャー・その他のボランティアの皆さんへ

皆さんは競技者の成長を支えるとともに陸上界を支える重要な役割を担っています。以下の点を特に意識し、競技者にとって、陸上界にとって最高の環境を提供しましょう。

- 適切な資格と倫理観を持ちましょう。
 - 適切な資格と倫理観を有しているべきことを認識しましょう。
 - 常に、競技者の年齢、経験、能力に合わせた、適切なコーチングを心がけましょう。
 - 練習や競技会では、参加する競技者の人数や年齢に応じた、十分な人数の指導者を配置しましょう。
- アスリートとの健全な関係性を築きましょう。
 - 指導者と競技者の間で個人的に親密な関係を築くことは、競技者個人だけでなく、チーム全体に悪影響を及ぼす可能性があるため、適切な距離感を保ちましょう。
 - 特に未成年競技者との頻繁な個別連絡やプライベートな外出は、法律などの処罰の対象となる可能性がありますので、絶対に避けましょう。
 - 未成年競技者と二人きりになる、一人だけを車に乗せる、指導者の家に連れて行くななどの行為が必要になった場合は、いかなる犯罪リスクの生じる状況も避けるため、保護者と緊密なコミュニケーションをとるようにしましょう。また、遠征時の寝室を共有することは絶対に避けましょう。
 - トレーニングで身体に触れる必要がある場合は、事前にその必要性を説明し、同意を得るようにしましょう。可能であれば、保護者や他の責任ある大人を同席させましょう。
 - いかなる犯罪行為を防ぐことを目的とし、閉鎖空間となるような場所では、二人一組での監督を行うようにしましょう。
- 安全と成長をサポートしましょう。
 - アスリートの心身の安全は、最重要なことであると認識しましょう。
 - 用具が適切に整備されているかを確認し、競技者自身が安全確保の責任を自覚するよう指導しましょう。特に危険な用具の管理方法と取り扱いルールを徹底させましょう。
 - 競技者が、指導者に何を期待しているかを理解し、指導者が競技者に何を期待しているかそれぞれ確認しましょう。
 - 別の指導者から指導を受けている競技者から指導を求められた場合は、その指導者と連絡し合いながら、適切に指導しましょう。
 - すべての競技者と互いに尊重し合い、信頼に基づく良好な関係を築くよう心がけましょう。
 - 競技者の自尊心を傷つけるような批判的、見下し、皮肉などの言動は避けましょう。
 - SNSでのコミュニケーションの取り方に注意しましょう。そのためには、複数人で管理しあうなど、個別連絡は原則避け、常に第三者が関与する手段を用いる体制を整えましょう。
- 陸上を支えるすべてのスタッフ(指導者など)が互いを尊重しましょう。
 - 指導者・役員・医療従事者・トレーナー・ボランティアなど陸上を支えるすべてのスタッフが互いに尊重し合い、信頼に基づく良好な関係を築き、多様な人々が共に生きる社会のモデルとなるよう心がけましょう。
 - すべての関係者の安心・安全を脅かす可能性がある事柄を傍観せず、より良い環境づくりに積極的に貢献しましょう。

競技者の皆さんへ

皆さんの日々の努力と情熱が、陸上を動かす原動力です。以下の点を意識し、安全で充実した競技生活を送りましょう。

- 健全な関係性を保ちましょう。
 - 指導者をはじめ、陸上に関わる他の人々との関係については、適切な距離感を保ちましょう。
 - 心配事、怪我、不正行為など、何らかの困難がある場合は、速やかにクラブなどの信頼できる適切な担当者、または保護者などに相談、報告しましょう。
- 安全に注意し、責任ある行動をとりましょう。
 - 危険な用具の取り扱いには十分注意しましょう。
 - 練習や競技会が終わる前にその場を離れる必要があるときは、必ず指導者に伝えましょう。
- 競技の精神を大切にしましょう。
 - 競技ルールを理解し、従い、公正にプレーし、常に向上を目指しましょう。
 - 公平性、他者への尊重や寛大さなどのスポーツマンシップの価値を、競技場の内外で大切にしましょう。

競技者の保護者・付き添い人の皆さんへ

未成年競技者の陸上への参加をサポートする皆さんの役割は非常に重要です。以下の点にご協力をお願いいたします。

- 未成年競技者の健康と安全を第一に考えましょう。
 - 未成年競技者の健康に関する情報を適切な関係者に適宜伝えましょう。
 - 可能であれば、未成年競技者の練習や競技会を参観し、積極的に興味を持ちましょう。
 - 前向きな姿勢で励ますとともに、ご自身の態度や行動が未成年競技者に影響を与えることを認識しましょう。
 - いかなる犯罪リスクも避けるため、未成年競技者がどこにいて、誰と一緒にいるのかを常に把握しましょう。
- 指導者などのスタッフとの信頼関係を築き、適切な距離を保ちましょう。
 - よりよい陸上界のために、指導者・役員・医療従事者・トレーナー・ボランティアなど陸上を支えるすべてのスタッフを尊重し、信頼関係を築きましょう。
 - 閉鎖的な空間(車・更衣室など)でのいかなる犯罪リスクも避けるため、周囲の大人が適切な対応をとることができるよう、指導者・役員などとのコミュニケーションを緊密にしましょう。
 - 保護者や付き添い人が同席しない限り、原則として、未成年競技者が指導者の家を訪問することを許可しないようにしましょう。

この行動指針は、私たち一人ひとりが陸上を愛し、より良い未来を築くための羅針盤です。皆さんのご理解とご協力に心から感謝いたします。

注記)この行動指針で用いられる「搾取」は、力関係や信頼関係に基づく地位が弱い立場の相手に対し不当・不必要に用いる行為あるいはその試みをさします。

【参考資料】

インターネット上の違法・有害情報に関する相談窓口について、以下の本連盟WEBサイトで紹介しています。 <https://www.jaaf.or.jp/ethic/ihaho.html>